田上市長が語る これからのまちづくり

皆さんのより良い暮らしに貢献していきます

市長の仕事として一番大事なことは、市民の皆さんのより良い暮らしに貢献することです。そのために、これから特に3つのことを重点的に進めていきます。

子育て支援　「子どもはみんなで育てる」を合言葉に、どこにいても子育てを応援してもらえるしくみがあるまちをつくります。

これまで、妊娠、出産時期から保育、学校に通うまでといった時間の切れ目のない支援に取り組んできました。これに加え今後は、地域や商店街、職場など場所の切れ目のない支援に力を入れていきます。

文化・スポーツ　幸町スタジアムやMICE施設も生かしながら、長崎で暮らす楽しさや心の豊かさを感じてもらえるまちを目指し、若い世代の楽しみも増やします。

介護士さん、地域の皆さんなどが一緒になって、サポートしていくチームづくりを進めています。全国的にも先進的な取り組みでもあるので、しっかりとかたちにして、安心して暮らせるまちを目指します。

魅力的でたくさんの人を呼べるまちへ進化させていきます

令和3年に長崎は**開港450年**を迎えます。ポルトガル船が長崎の港にやって来た時から、長崎の歴史は大きく動き出し、海外との交流で栄えてきました。そして、今、長崎が持つ歴史や資源などを生かし、もう一段階ステップアップした、人を迎えいれるまちへ進化しようとしています。

陸の玄関、長崎駅周辺で駅前広場の整備や新幹線の開業に向けた取り組みが進んでいます。**海の玄関**の長崎港も以前に比べる

ために必要な6つの柱

楽しさ ③

文化・スポーツ・エンタテインメントの充実に取り組み、長崎に住む楽しさを増やします。

市民主体 ⑥

「自分たちのまちは自分たちでよくする」「長崎のまちをみんなでつくる」を合言葉に、全員プレイヤー型のまちづくりを進めます。また、地域の皆さんの市民力をアップするため、学べる機会を増やします。

地域で暮らしを支える しくみを育てます

新しい産業の育成　新しい時代の新しい産業の芽を育てるのも大事な仕事です。現在、長崎ではAIやICTなどの新しい分野の企業誘致を積極的に行っています。地元の大学や市外の起業家とも連携し、新しい技術や製品を生み出していくような挑戦ができるまちにしていきます。その他にも**公共交通や情報ネットワーク**のありかたは一つのテーマだと思っています。どこに住んでいても、市民が生活に必要なサービスを受けられるまちを目指します。

一人暮らしや夫婦二人だけの世帯が全体の5割を超えている現在の長崎では、地域での支え合いがとても大切になってきます。

地域コミュニティのしくみづくり　地域でのまちづくり会議には、小学生から高齢者まで幅広い年代のかたが参加しています。みんなで力を合わせ、できることから少しずつ始めて、自分たちのまちを暮らしやすくしようという取り組みが広がっています。

地域包括ケアシステム　住み慣れた地域で、できるだけ長く暮らしたいと思っている市民の皆さんは多いと思います。そこで、お医者さんや歯医者さん、薬剤師さん、と大きく姿を変えてきました。平成12年に出島ワーフが、平成17年に水辺の森公園が完成し、港が長崎の市民にとってより身近で親しみが感じられる場所になりました。そして、もっとたくさんの人でにぎわうように、現在、松が枝ではクルーズ客船が2隻同時に着岸できる「ツーバース化」の取り組みも始まろうとしています。

まちの変化は1年、2年では分かりづらいかもしれません。でも、20年、30年という時間の流れでみると長崎は着実に魅力的で美しく、機能的でたくさんの人を迎えいれるまちに進化してきています。

これからの4年間は、陸の玄関や海の玄関に加え、長崎の歴史と文化の一番の宝物がつまった**母屋**であるまちなかの魅力も顕在化していきます。

同じ時期にいろんな分野や場所で変化が起きていますが、これらの取り組みは別々に進んでいるわけではありません。暮らしの面でも、まちの姿の面でも、長崎は21世紀の基盤をつくる時期を迎えています。それを土台に、今まで以上に魅力的で、ワクワクしたり、楽しいことが起こったりするまちになっていきます。

暮らしやすさを自分たちで工夫し、長崎にあったものをつくっていく。そんなまちを目指し、しっかりと取り組んでいきます。

皆さん、夢のある長崎を一緒につくっていきましょう！

これからも暮らしやすい長崎を目指す

子ども ①

妊娠から子育て、教育までの時間の切れ目のない支援を行うとともに、安心してお子さんとお出掛けできるような場所の切れ目のない支援も行います。

経済・産業 ②

地元企業の活性化に力を入れます。また、市外からの積極的な企業誘致活動や新技術、新製品、新産業の創造を後押しします。

暮らしやすさ ④

全ての世代のかたが暮らしやすいように、医療や福祉のサービスを充実させます。また、交通インフラの整備や防災など安全な都市基盤づくりを行います。

魅力の発信 ⑤

世界遺産・歴史的建造物を生かしたまちづくりや、平和のメッセージを世界に発信するなど、魅力の発掘と発信を行います。